

ふらんこ

島田市 神谷城保育園

周囲を茶畑に囲まれた風光明媚な場所に位置する神谷城保育園。島田市（旧金谷町）のこの場所で開園し、今年六〇年目を迎えた。現在定員九〇名。現園舎は一九八〇年に改築。

開園当初は、茶業や養蚕業などを中心とした地域の農家のこどもたちが多く、各家庭に保育者が園児を迎えに行くこともあったそうである。その後、地域のニーズも拡大し、金谷全域の子育て家庭の支援をするため山間部であることもあり、バスでの送迎も開始した。保育目標である『心身共に健康な子どもを育てる』『明るく元気な子・友達と共に活動ができる子・創造性が豊かで意欲のある子』



の思いのもと、恵まれた自然を生かした保育を実践し、四季折々の山菜を収穫したり、それを地域の皆さんの協力を得ながら天婦羅

園長 小関健太郎



にしたりして味わうこともある。冬には周囲の野山をマラソンしたり、カモシカや野ウサギなどとも出会いながらの散歩や、親子ハイキングをしたりと豊かな自然の中で心豊かな保育園生活を送っている。

取材当日は、今春就任した健太郎園長と先代である秀利理事長が元気な笑顔で迎えてくれた。また各クラスを訪れると、お二人の手柄を反映したかのように、乳児クラスから幼

児クラスまで人懐こいこどもたちが歓迎してくれ、心温まるひと時となった。就任一年目の健太郎園長は「一日の時間が足りないくらいやることが多い。いまはとにかく一所懸命頑張ります。」と語り、「だんだんと慣れてくるとわかってくるよ。保育のいろんな変わり目だし、良いタイミングだ。」と隣で微笑む秀利理事長の姿は、その時ばかりはおとうちゃん顔となっていた。

保育新時代に、六〇年目の次なる『はじめの一步』を踏み出した神谷城保育園。地域の中でこどもたちを真ん中しながら、これからも継承と進化を繰り返しながら歩んでいく姿を感じられた。

ゆるやかな時間の流れる神谷城保育園で育つこどもたちは、愛情という自然の栄養もたつぷり受けて、大地にしっかりと根を張り、伸び伸びと発達成長していくことでしょう。



この度はお忙しい中、お時間を取っていただきありがとうございました。